

2008年3月期 第3四半期決算 FAQ

1. 第3四半期(10月-12月期)の業績は想定と比べてどうであったか？

A1：第3四半期の半導体売上高は、前期(7月-9月)比約3%減の1,637億円となりました。自動車向けマイコンやゲーム機向け半導体の売上が好調であったものの、携帯電話向け半導体の売上が減少したことや、在庫調整により一部汎用マイコンの売上が伸び悩んだことなどにより、想定を若干下回る結果となりました。一方、営業損益については、固定費削減を着実に実行した結果、30億円の利益を計上し、第2四半期に引き続き営業黒字化を達成しました。

2. 為替が円高で推移しているが、為替によるインパクトはどの程度あったのか？

A2：1円の円高による営業損益へのマイナスインパクトは、米ドルで1億円強/月となっています。ユーロについてはあまり大きな影響がありません。第3四半期では、想定レート115円に対して実勢レートが114円と1円の円高であったため、営業損益への影響は限定的でした。

3. 第4四半期(1月-3月)の業績見通しはどうか？

A3：第4四半期の半導体売上高に関しては、第3四半期比で横ばいを見込んでいますが、これを最低限の目標とし、売上増を目指します。営業損益につきましても、為替の影響や減価償却費などの増加等、厳しい状況が想定されますが、下期黒字化を最低限の目標として、引き続き業績の改善を目指します。

4. 前年度比200億円の固定費削減は計画どおり進んでいるのか？

A4：固定費削減に関しては、期初計画の200億円削減に対し、9ヶ月累計で約140億円の削減となりました。上期は期初計画以上の削減を実行しましたが、第4四半期にかけてもさらなる効率化を進め、通期では期初計画200億円を上回る固定費削減を目指します。

5. 来年度の業績はどう見ているのか？

A5：来年度(2009年3月期)の業績に関しては、当期純利益レベルでの黒字化を目指しており、それを達成するために売上の拡大とコスト削減に取り組んでいきます。しかし、売上高をはじめとする来年度の業績見通しについては、マクロ市況や為替動向等を慎重に見極める必要があり、今年度の年間決算発表にてご説明する予定です。